

SMAF オーサリングツール ATS-SMAFPhraseL1 (ATS-PL1) ファーストステップガイド

本ソフトウェアは、MIDI やシンセサイザーに関する基礎知識を有する方のご利用を想定しています。
また、パソコンで再生された場合と携帯電話機上で再生された場合では、音の鳴り方に若干違いが
でる場合があります。あらかじめご了承ください。

～最初の一步～

簡単な使い方を説明いたします

● 1. ファイルの解凍とインストール

ダウンロードしたファイル(.zip)を解凍ツール等を使用して解凍します。次にフォルダ内の自己解凍型
「ATS-PL1.zip」を更にダブルクリックし、メニューの指示に従ってインストールを完了させます。



ATS-PL1.zip

● 2. アプリケーションを起動する

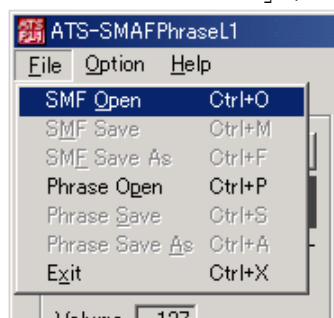
ATS-PL1 のアイコンをダブルクリックして、起動します。



ATS-PL1

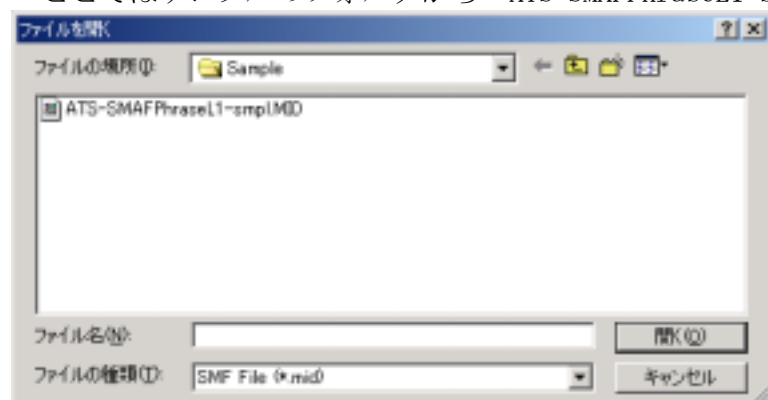
● 3. SMF を読み込む

ATS-PL1 の「File」メニューから「SMF Open」を選びます。

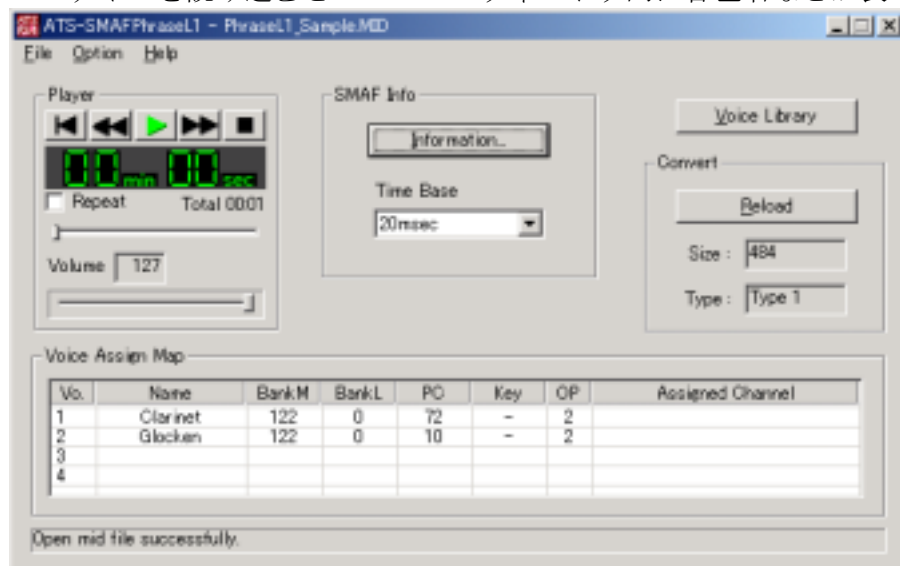


ファイルオープンダイアログより、SMF ファイルを選びます。

ここではサンプルのフォルダから「ATS-SMAFPhraseL1-smpl.MID」を選んでみましょう。



ファイルを読み込むと ATS-PL1 のウィンドウ内に音色名などが表示されています。



● 4. 曲を再生してみる

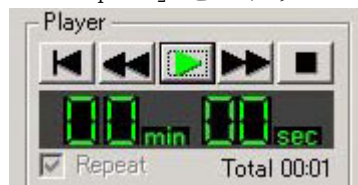
右向きの緑色の▲をクリックすると演奏が始まります。

SMF ファイルを読み込んだ直後であれば、曲の再生が始まる前にデータの解析と変換が行われます。

(簡単なデータであれば数秒、複雑なデータでは数分かかることがあります)

■をクリックすると演奏を停止します。その他、早送りや巻戻しなどの操作は CD プレーヤー等と一緒にです。

「Repeat」をクリックしてチェックマークを付けておくと、繰り返し再生されます。



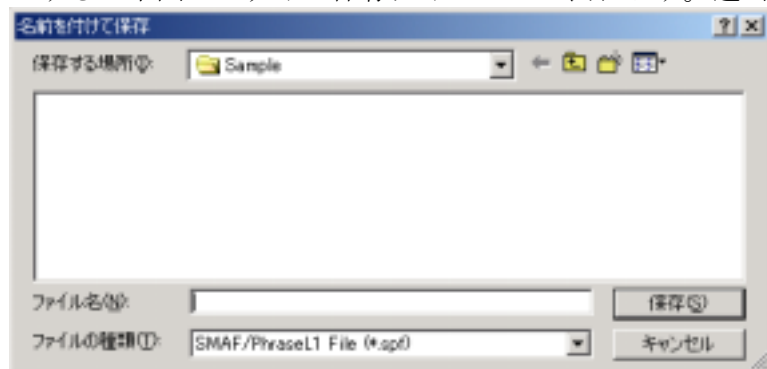
パソコンからの音を聞くことができたでしょうか。

● 5. 曲のデータを保存する

発音を確認したら、次は SMAF/PhraseL1 ファイル形式で保存します。

ATS-PL1 の「File」メニューから「Phrase Save As」を選びます。

すると下図のファイル保存ダイアログが表れます。適当な場所を選んで保存します。



いかがでしょうか。以上が一番簡単な ATS-PL1 の使い方です。



演奏データ制作のポイント

携帯電話用にデータ量を極力小さくするという目的を達成するため、一般の MIDI ファイルに比べて制約が多くなっています。

ATS-PL1 でコンバートするための SMF（スタンダード MIDI ファイル）を制作する際は、以下の項目に気をつけて下さい。

- 1) SMF は一般的に FORMAT-0 と FORMAT-1 の 2 種類が使われていますが、FORMAT-0 で制作して下さい。
- 2) SMF の拡張子は「.mid」「.MID」としてください。
- 3) ピッチベンドやコントローラーを使う際はデータが必要以上に多くならないようにして下さい。

演奏データの分解能の目安として、だいたい 1 拍の 24 分の 1 から 16 分の 1（※1 拍：480tick の場合で 20～30tick）程度で制作すると、短時間で変換することができ、しかもイメージ通りに再現されます。
※ATS-PL1 が SMF を SMAF/PhraseL1 に変換する際に 20mSec.（1000 分の 20 秒）のタイムベースで処理されます。

音符のゲートタイムがこの分解能より短かいと変換できないことがあるので注意して下さい。

- 4) 元の SMF の MIDI チャンネルは 16 チャンネル全てが使えますがパート数は 4 つです。
また、同時発音数は 4 音です。

一般の音色については GM とほぼ共通ですが、ドラムパートについては注意が必要です。

SMAF/PhraseL1 にはドラムキットというものが存在しません。例えばバスドラム、スネアドラム、ハイハット、の 3 音でドラムを演奏する場合、パート 3 つを使って発音します。

ATS-PL1 では SMF を読み込むと自動的に元の SMF のドラムパートを解析して、発音される音の数だけチャンネルを優先的に割り当てます。

ですから、通常の打ち込みと違って少し工夫が必要です。

■ドラムパートの工夫

例えば元の SMF でドラムパートで 4 つの楽器音を使っていたとすると、SMAF/PhraseL1 用に変換したときドラム音色だけで全てのパートが埋まってしまうます。ですからドラムパターンを工夫して、鳴らす楽器の種類が少なくても、抑揚のあるリズムカルな表現で聴かせるのがコツです
ドラム音色のチャンネルでは曲中でプログラムチェンジを使う事はできません。

■ドラム以外のパートの工夫

ドラム以外の音色のチャンネルでは曲中でプログラムチェンジを使う事ができます。

パートが足りないときはプログラムチェンジを使って、同時に発音しない複数のパートを 1 つのチャンネルで音を切り替えながら演奏するようにすると表現の幅が広がります。

- 5) ドラム以外の音色のプログラムチェンジは GM や XG と互換性がありますが、バンクセレクトは独自のものとなっています。
ノーマル音色はバンクセレクト MSB, LSB(CC#0, 32) = 122, 0～9、ドラムは 123, 0 です。
- 6) 使える MIDI イベントの種類に制限があります。例えばホールドやエクスプレッションは使えませんが、ピッチベンドやモジュレーション、ボリュームは使えます。
→詳しくは「着信メロディ制作ガイドライン（for ATS-SMAFPhraseL1）」を参照して下さい。